



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市 総合政策部 多文化共生課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5674

ホームページ▶

ふるさと上越 🔍



三味線を弾きながら雁木通りを歩く、瞽女唄継承者の月岡祐紀子さん 2024.2.3(土) 撮影:松本栄規さん

## 「たより」No.295 目次

ふるさと上越ネットワーク(Jネット)ホームページでは、「たより」を全ページフルカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告	1	震災等発災に備えてボランティア活動	内田道行
Jネットの活動とお知らせ	2	天中軒景友「鬼平犯科帳を唸る」を拝聴して	溝口良二
とれたて上越	3	瀧川鯉橋師匠 高座予定	7
上越のカフェ	4	上越産品販売のお知らせ	7
Ateliershop&Cafe sankaku × shikaku		会員ひろば(続き)	8
俳句ひろば	4	ブーゲンビリアは満開/一足早い観桜	小坂庸雄
会員ひろば	5	上越市からののお知らせ	8
「師匠の言葉」～食えないよ、と言われたけれど～		Jネットからののお知らせとお願い	8
和算塾の役割			
		瀧川鯉橋	宮本健二

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は605名(令和6年2月29日現在、集計方法を一部変更しました。)です。令和5年度目標610名。

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和5年1・2月) 216点 394,746円 ※前年同月 110点 134,609円

### ◆ 2月8日(木)湯島にてサロン開催

例年2月はサロン参加者が少ないのですが、今月は28名の参加で11月、12月並みに多くお集まりいただきました。初参加の宮井了仁さん、佐藤修さんのお話、また久々参加の方々からも近況報告を頂き、たいへん賑やかで楽しいひと時となりました。



ご参加のみなさん

岡村さんからは北海道のお酒、松本さんからは上越産のシフォンケーキの差し入れがありました。ご馳走様でした。

また、おつまみでは事務局で用意した出来立ての温かい沖縄の「八重山そば」が大好評でした。またの機会に用意します。

今月は女性の参加が4名と少なく、ちょっと寂しかったです。いつもの北城組のお姉さまがた、来月はまたぜひご参加下さいね。  
(祖父江ひろみ 記)

**【次回以降のサロン】** 毎月第2木曜日開催 参加費 1,500円  
(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ 3月14日(木) ◆ 4月11日(木)

開催時間 17:30～19:00

会場: 東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」

〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL: 03-3832-7619

お問合せやご参加は、事務局(宮里) Mail: [k.miyazato@araipt.co.jp](mailto:k.miyazato@araipt.co.jp) TEL: 03-5244-5138までお願いします。

東京新潟県人会館アクセス(電車)

東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口から徒歩1分

東京メトロ銀座線「上野広小路駅」4番出口から徒歩5分

都営地下鉄大江戸線「上野御徒町駅」A4番出口から徒歩5分

JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口から徒歩6分

### ◆ 第51回Jネット勉強会 茅ヶ崎市開高健記念館の企画展の報告

当日、1月27日(土)は寒い朝でした。参加者8名と博物館友の会の幹事(会員Nさんの紹介者)の9名。

記念館と茅ヶ崎ゆかり人物館では、幹事からそれぞれの展示物の丁寧な説明を受けました。記念館の圧巻はイトウをはじめ数々の魚の剥製および彼が構想を練った閑静な中庭と書斎は一見の価値があります。

人物館は小津安二郎や映画関係者の展示の他に、終戦前後に流行した結核の医療を行った南湖院があります。

ランチ懇親会は近くの茅ヶ崎ゴルフリンクスのレストランで行い、和気藹藹と談笑しました。幹事はJネットの行事や「たより」などを見聞して、当会の活動に感心していました。美味しかったランチは会員Nさんがレストランの方々と同様顔なじみでサービスしていただきました。

帰りは朝とは違い湘南の暖かい日差しが降り注ぎ、参加者から「今回の勉強会は良かった。」との言葉をいただきました。  
(溝口良二 記)



開高健記念館にて

### ◆ 第52回Jネット勉強会 前島密翁の墓前祭

前島密翁没後105年にあたり、加えて実施日が翁のご命日です。

例年、上越市の市長をはじめ関係者の方々も参列されます。郷土の皆さまとの交流の機会だと思しますので、ご参列くださるようお願いいたします。

日時: 令和6年4月27日(土) 10時30分 現地集合

場所: 横須賀市芦名 浄楽寺 (JR逗子・葉山駅からバス(逗5または逗6)に乗車)

詳細は同封のご案内をご覧ください。

墓前祭終了後、逗子駅前の居酒屋で懇親会をおこないます。希望者は当日溝口まで連絡下さい。



前島密翁のお墓

## ◆ 第53回Jネット勉強会

### 味の素ナショナルトレーニングセンター（味NTC）見学

味NTCは、トップアスリートの国際競技力を向上させるために設立した国立の専用トレーニング施設です。オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用できる施設です。トップアスリートの実際のトレーニング姿を見ることができます。

先着順で受け付けますので、早めに申込み下さい。

日時：令和6年5月11日(土) 13時30分 集合時間：13時

集合場所：味NTCセンター・イーストの見学者受付

入場券：1,000円 参加人数：20名(先着順)

アクセス：都営三田線「本蓮沼」か「板橋本町」から徒歩15分

JR赤羽駅西口よりバス停5番から「トンネル経由赤羽車庫行き乗車「HPSC南」下車3分

詳細は同封のご案内をご覧ください。

見学後、懇親会を予定していますので、参加者は5月7日(火)までに事務局までご連絡下さい。

Mail k.miyazato@araip.co.jp TEL 03-5244-5138



## ◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

おかげさまで、JネットHPの閲覧者数は、国内、海外を合わせて増え続けています。内容も、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のQRコードからご覧いただけます。



## ◆ 上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。

## とれたて上越

### 1. 上越の行事・話題

#### (1) 第99回高田城址公園観桜会

令和6年3月29日(金)～4月14日(日曜日)

開催時間 ライトアップ：日没～21時 高田城址公園では、公園とその周辺を含めて約4,000本の桜の開花にあわせて観桜会が催されます。

(※開花状況により、一部事業の前倒し開催や会期の延長があります。)

問い合わせ先：上越観光コンベンション協会 TEL：025-543-2777

上越市観光振興課 TEL：025-520-5741



#### (2) 多世代交流生まれる拠点に

移住者が上越市清里区に子ども食堂や民宿などの多機能施設開設

清里区武士に2024年3月2日、子ども食堂と農家民宿、コワーキングスペースを兼ねた「清里いばしょベースCha-ya (チャヤ)」がオープンしました。同区に移住して3年になる高木桂さん(41)が空き家を活用して「誰でも気軽に集まり、多世代交流が生まれる拠点」を目指しているそうです。

詳しくは下記URL上越タウンジャーナルさんの記事よりご覧いただけます。

<https://www.joetsutj.com/2024/02/25/172553>

◆ Ateliershop&Cafe sankaku × shikaku

東本町の雁木通りに、さんかくのおにぎりと四角いサンドイッチのカフェができています。上越出身の2名の作家、qucecke（くせつけ）さんとHitsujiCandleさんが、店舗を持たない地元アーティスト達との出会いの中で、展示販売できる場所やアトリエショップのような場所があればと、出来上がったお店です。

カフェ機能があれば、コーヒーを飲みに来て、こういう作家がいるんだと知ることができる。また、飲食と作家、作家とお客様、作家同士の交流の場になればという思いから、様々なイベントも企画されています。

町家という地域性で、近所のお店さんがめっちゃくちゃ良くしてくれるそう。若い人達が入ることで、町が賑わってくれるのが、嬉しいという想いを受け止め、長く続けていきたいとのこと。

町家の古さと新しさが混ざった店舗は、面白い、落ち着く、おばあちゃんちに来たけどオシャレ、ホームシックだったがホッとした等、お客様から感想があり、建物が好きな方も訪れているそうです。

上越市東本町1丁目1-11 営業時間 12:00～18:00（月・水曜定休日）  
Instagram <https://www.instagram.com/sankakushikaku/>



（小坂恵美 記）

俳句ひろば

裸木や鴉カラスのさらうの攫さらふ握り飯

鴨の陣見まゐりてきて外すイヤリング

ひなたぼこ皆先生に片思ひ

春の雪鴉電線ゆさゆさす

啓蟄や眉整へて紅をひく

佐藤光子

公園を側転する子水温む

春日差新書に滲む蛍光ペン

卒業の親の背超える中学生

入り彼岸ひんがし鼯くねの舞台見に行かむ

真珠婚とて桜湯を飲みてをり

宇賀田洋巳

縁に腰かけて雛ほめ郵便夫

初孫も女雛も同じ一皮目

白鳥の高舞ひ別れ近づきし

卒業の子らに雪道踏みひろぐ

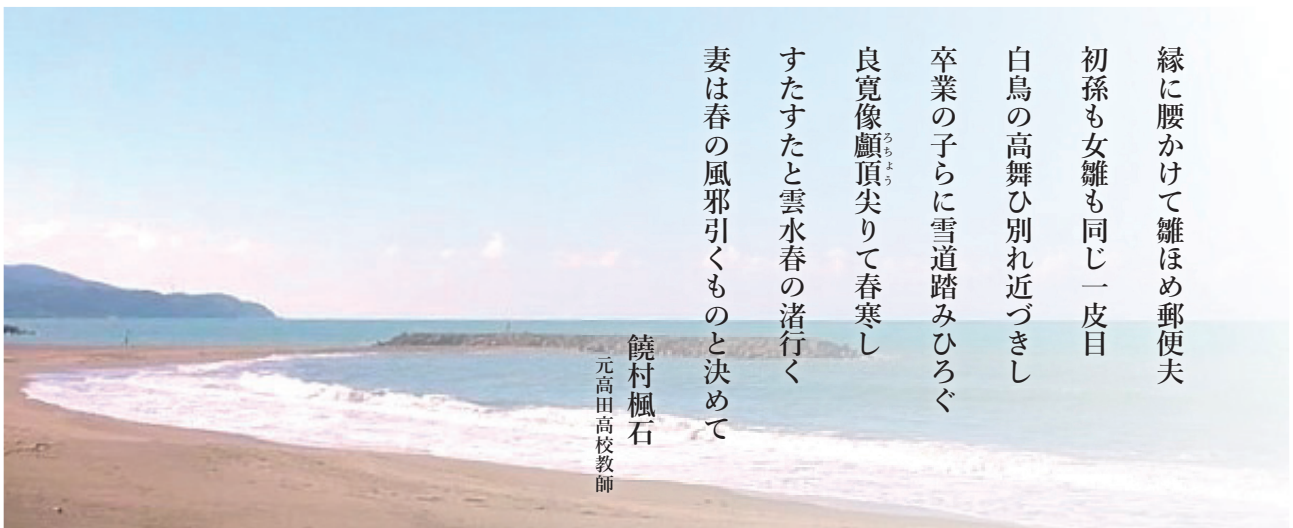
良寛像らうかん顛うづ尖りて春寒し

すたすたと雲水春の渚行く

妻は春の風邪引くものと決めて

饒村楓石

元高田高校教師



◆「師匠の言葉」～食えないよ、と言われたけれど～

瀧川鯉橋

えー、おそれいりますが、私が入門したころの話にしばしお付き合いのほどを。

時おりお客様から「なぜ落語家になったのか」と訊かれることがありますが「好きだから」としか答えようがないです。売れるのはほんの一握りだし、決して他人には勧められない。そもそも職業なのかどうかもアヤシイ。「咄家は職業じゃあない、生き方だ」と言うお師匠さんもいるくらいです。これも或るお師匠さんの話。今も痩せ型体形の方なのですが、若手のころにホントに食えなくてガリガリに痩せた体で確定申告に行き、ほとんど収入が無い申告書を見て怪しんだ税務署員から「こんな収入でどうやって食ってるんですか」と詰問され、「食ってません」。そのやせ細った姿をまじまじと見た税務署員が「…そうですね」。納得して申告書を受理してくれたんだそうで。

私が師匠の瀧川鯉昇(りしょう)のところ弟子入り志願に行った時も、最初の一言は「食えないよ」だった。しかしそう言ったあとで「でも不思議と、咄家が飢え死にしたって話は聞かないんだよね」と師匠は微笑んだ。この一言が今でも心の支えになっている気がする。

「芸の道案内は出来るが生活の保障は出来ない、それでもいいなら、落語が好きならやるだけやってみたらいい。嘘はつくな、これ(人差し指を曲げて「泥棒」の意)とこれ(拳を握って「暴力」の意)はダメだぞ」ということで、平成十年の二月に入門。週に二度ほど師匠宅に行き掃除をする。その合間に師匠から咄を教わり、兄弟子からも太鼓や着物の着方・たたみ方などの前座仕事を教わった。ふた月ほど経って、師匠の師匠である春風亭柳昇師匠のお宅に連れていってもらいご挨拶。その際の柳昇師匠からは「自分に何か言ってくれる人の言葉は天の声だと思って聞きなさい」、この教えも大切にしています。

春風亭鯉奴(こいぬ)という名前をいただき、四月から寄席の楽屋へ毎日通う。翌月から正式に前座となり毎日約六時間の楽屋務めをして給金は一日千円。アパートは雑司が谷の四畳半、家賃二万五千元也。最初の一年くらいが一番キツかったかな、それこそ「食ってません」状態。師匠から言われたのは「何の保障もないんだから毎月の家賃は必ず確保しろ。それから米と塩。余裕があったら味噌も買え。道端の草もタンポポやノビルとかけっこう食えるものがある、アジサイは下痢するから食うな。図書館に行って図鑑で調べておけ」。おかげで雑草に少し詳しくなり、今も時々高座で「その頃から私、『草食系男子』と呼ばれております」などとマクラで喋っている。

もう一つ、「『三』の付く時期に不安になったり辞めたくなったりするもんだ」とも。確かに三日、三十日、三か月、三年目には何かしらそんな気持ちになったものだ。

そういえばあと数年で入門から三十年になる。うーん、もう今すでに不安なのですが。まあでも「飢え死にしない」を支えにして何とか続けている気がします。



新宿末広亭にて  
左から2人目が師匠の瀧川鯉昇 一番右が鯉橋

当会の副会長 鯉橋師匠が入門時代に想像以上に苦労された話は大変興味深い内容です。師匠はその後平成24年に真打に昇進されましたが、次の機会にはこの頃のお話を是非紹介頂きたいです。(小坂庸雄)

◆和算塾の役割

埼玉県比企郡川島町在住 宮本健二 (頸城区花ヶ崎出身)

最初に「ネットのたよりに「近況」を掲載して頂いたのは、2012年1月号でした。その後2013年と2015年に近況の続編を掲載頂きました。1回目が定年後に今も居住する埼玉県で子供たちに教える「理科教室」についての話、2回目が「和算家関孝和」の話、3回目が中学生を対象にした「和算と現代数学教室」の話を掲載しました。

今回は和算塾に関連した、郷里「上越市頸城区花ヶ崎」と現在の居住地「埼玉県比企郡川島町」の風土の話をさせていただきます

右の写真は直江津市中央にある柿村書店です。ここは1872年(明治5年)に江戸～明治時代の和算家小林百喙が和算塾を開設した場所です。



さて、私は1986年（昭和61年）に今の居住地、川島町に移り住んで37年になります。ここは散歩すると遠くに山々が見え、見渡す限り水田が広がる頸城区の水田風景と似ています。この川島町にも古くに和算塾があって、和算家小高多聞治や大谷織造等がいました。

川島町は荒川や入間川、越辺川、都畿川、市野川に囲まれていたので昔から水害が多かった地域です。最近では2019年10月に町の広い地域で水害がありました。水害の後で河川修復や堤防修復工事に測量と築堤技術が必要で、そのため土木技術者を教育訓練する場所が必要であったと思います。その場所が和算塾だった訳です。

直江津も関川と保倉川が合流して日本海に流れる場所なので水害が多かったそうです。同じ理由で直江津も和算塾が必要だったのです。

また、もう一つ和算塾が必要だった理由があります。それは新田開発です。頸城平野には江戸時代沿地を水田にした新田開発地域が多くあったと土地改良区史に記録されています。一方川島町も江戸時代各地域で新田開発が行われたと郷土史に記述されています。新田開発を行うには、稲作に必要な水路や排水路を作るために測量をして、土地の高低差が分かる地図を作り、土木工事をする必要があります。そして土地測定や土木工事技術を教育する場所が和算塾であったのです。このことは郷土史に記載されています。和算塾にはこのような歴史的な背景があったようです。

なお、個人的な話ですが、私の長男、宮本安人は小中学校を川島町で、高校は川越高校、東京大学理学部数学科、同大学院博士課程を卒業、いくつかの大学を経て2013年（平成25年）から母校大学院へ戻り、現在教授をしています。これも居住地の風土が育ててくれたものと思っています。

上越市大潟区出身では、元北里大学教授、大橋常道氏がいますが、次の世代の数学研究者が輩出することを願っています。



和算塾跡の石碑



隣接の食事処「縁起堂」にて  
右が筆者、左が柿村書店の柿村徳成さん

## ◆ 震災等発災に備えてボランティア活動

内田道行

このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆様にこころよりお見舞い申し上げます。

私は平成15年に※東京消防庁災害時支援ボランティアに登録し、危惧される首都直下震災などの発災に備えてボランティア活動をしています。

東京消防庁災害時支援ボランティアとは※（東京消防庁HPより）

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-bousaika/sien/index.html>



そして17年の活動に対して「都民功労表彰」を受けましたので皆様にご報告させていただきます。

### 内田の応募動機

企業戦士としてのサラリーマン生活を終えて人生新たなステージに立つとき、どのようなスタイルが自分に合うか（納得できるか）を思うときに「社会貢献と自分の好奇心」を評価軸にいくつかのボランティア活動を検討しました。その結果、家族や地域の隣人の安心・安全を思い企業戦士時代とは違う「やさしさ・思いやり」の心と友和の実現に価値を見出しました。

### 内田の所感

日頃観念的に「防災」を考えていましたが、消防専門職の方から指導・教育を受けて日常では体験できない訓練や教育で「目から鱗」のような感激と感心をさせていただいています。

ご参考までに

社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会

<https://www.shakyou.or.jp>



## ◆天中軒景友「鬼平犯科帳を唸る」を拝聴して

溝口良二

2024年2月10日（土）浅草木馬亭で、表題の浪曲を聞きに行き、会員のSさんと会いました。景友さんは能登半島地震の被害を想い、演目を「総持寺開創物語」に変更しました。

この演目の中の禅問答の語りが素晴らしかった。「鬼平犯科帳～白い粉」は景友さんのギターと三味線とが見事にハーモニーし、彼の豊かな声調がスペインタンゴの情熱を思い起こし、観客からは大きな拍手がありました。ゲストの神田春陽先生の「網代問答」も楽しませてもらい、講談と浪曲の差異が分かりました。なお、5月18日（土）鎌倉建長寺で、景友さんが「吾妻鑑外伝」を演じられます。



瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋：090-4730-9032 rik\_yoh\_taki@taupe.plala.or.jp（鯉橋メール）

### ◇3/25(月)七人の侍～流浪の落語勉強会～ (4/18、5/23も)

時間：午後1時～3時半ごろ

木戸銭：1,500円

出演：鯉朝、枝太郎、楽生、  
鳳志、鯉橋、藍馬

会場：お江戸両国亭(両国4-30-4)

### ◇4/15(月)八起寄席

時間：午後7時～8時45分

木戸銭：1,500円 出演：鯉橋ほか

会場：焼肉「八起」(相模大野)

お問合せ：042-748-2611(八起)

### ◇5/12(日)鯉橋の落語でひとやすみ

時間：午後4時～5時半 木戸銭：1,500円 出演：鯉橋(二席)ほか

会場：喫茶「ひとやすみボン」(板橋区若木2丁目、環八沿い)

お問合せ：080-5544-9241(オビ)

### ◇5/18(土)腰越・津落語会

時間：午後2時～4時

木戸銭：1,500円(高校生以下1,000円)

出演：昇乃進、鯉橋

会場：宝善院(鎌倉市腰越)

お問合せ：0467-31-8010(宝善院)

### ◇5/19(日)梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」

時間：午後1時～3時ごろ 木戸銭：2,500円

出演：鯉橋、小助六、夢丸

会場：梶原いろは亭(北区上中里3-1-4)

お問合せ：03-6322-1622(いろは亭)

☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。鯉橋拝

## 上越産品販売のお知らせ

### ● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A 4版1枚）を同封にてお届けします。

### ● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

### ● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から徒歩約3分)

場所：楽町交通会館1階

営業時間：11：00～19：00

年中無休(年末年始は休業)

### ● 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」

日時：3月23日(土)・24日(日)

4月27日(土)・28日(日)

会場：有楽町交通会館1階 ピロティ

時間：11：30～17：30

「雪国商店」または下記のURLよりご覧ください。

<https://yukiguni.shop/>

「雪国商店」&「雪国マルシェ」お問合せ先  
JCV東京情報センター TEL：03-5218-7730

◆ ブーゲンビリアは満開/一足早い観桜

小坂庸雄

1月下旬から2月初めにかけて、タイへ行って来ました。

2000年を挟んで5年間ほど現地で勤務した経験もあり、高校時代の仲間中心にコロナで中断はありましたが、今年で15回目の定例旅行です。ゴルフが主目的ですが、バンコク周辺を散策、海老、鳥などの料理や豊富なフルーツを楽しみました。

この時期に行くのはお勧めです。タイの気候が良いこと(猛暑ではなく雨も少ない)、それに加え日本では一番寒い時期だからです。

では写真をご覧ください。ブーゲンビリアなど満開。そして一足早い観桜、南国の緑と調和していて大好きな光景です。この「桜」、正式名はチョンプー・パンティップと言いますが、現地にいる日本人の間ではタイ桜と呼んでいます。

なお、集合写真12名のうち6名がJネット会員、女性2名は会員の妻です。



タイ桜



上越市からののお知らせ

◇ 令和6年1月能登半島地震 災害緊急支援・寄附を受付 ◇

～ふるさと納税でご支援・ご協力をお願いします～

「令和6年能登半島地震」により、上越市でも津波被害や土砂崩れによる国道の通行止め、建物被害などの地震被害が発生しました。

現在、復旧に向けた作業が着実に進んでおりますが、継続的な支援が必要となっています。

ふるさと納税ポータルサイトにおいて、災害支援の寄附金受付を開始しておりますので、多くの皆様の温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※1,000円からの寄附が可能です。  
 なお、災害支援のため、お礼の品はお送りしていません。

・右のQRコードからふるさと納税ポータルサイトの情報をご覧いただけます。  
 ・災害支援を希望される方は、各ポータルサイトの災害支援のページからお願いします。

照会先：総合政策課企画調整係 (TEL：025-520-5625)



●●●●●●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

皆様よりの寄稿、投句をお待ちしています。

さらに、たよりについての感想、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしております。

Mail 送信先 事務局：k.miyazato@araipt.co.jp

◎次号「たより」は令和6年4月25日の発行です。